



# 第21回のぞえ夏まつり

令和元年8月3日(土)

蓮池小学校グランド

## キャッチフレーズ 『笑顔がいっぱい』

今年の夏も猛暑です。梅雨明け1週間で連日の熱帯夜。疲れが出てきそうな頃です。しかし、昨年の酷暑を乗り越えた自信からか7月28日の実行委員会では、最初から熱気が溢れる感じで70名近い人たちが夏まつりを運営するために集まってくださいました。

8月2日(金)午後3時から前日準備をしたところ40名以上のスタッフが集まり、2時間ほどでテントや櫓の組み立てをしました。運営委員長の武岡さんの指示も的確で一人一人が責任を持って手際よく作業を進めた結果でした。

8月3日(土)、朝7時30分頃から蓮池小学校では電気配線を行う業者の登場、午前8時には80名ほどの方が机・椅子の設置や提灯付けなどをしてくださいました。おかげさまで1時間ほどで準備が終わりました。その後会場の水まきの準備、午後1時過ぎからは夜店の出展者の登場、音声の担当業者の準備、そして出演団体の準備等、飛ぶように時間が過ぎていきました。

午後3時40分、スタッフジャンパーを着た90名ほどの運営委員がコミセンのロビーに集まり、最終の打ち合わせを行いました。主な仕事は巡回警備とトイレや校門などの安全警備です。

午後4時から夜店が始まりました。まだ暑いのに焼きそば・かき氷・フランクフルト・焼きトウモロコシ・ジュースなどたくさんの方が並んでいました。ゲームコーナーでは、ヨーヨー釣り・輪投げ・くじ引きなどいろいろ楽しみながらたくさん景品をもらっていました。野添コミュニティが出しているオアシス蓮池からは、古宮漁協で作っていただいた干しダコから作った『たこ飯』、『手作りパン』、『いなみの野菜』『加古川かつめしのたれ』の販売を行いました。どの団体も夏まつりを盛りあげようと一生懸命頑張ってくださいました。



## 開会セレモニー

午後5時からいよいよプログラムの開始です。黒澤副委員長の開会宣言の後、実行委員長の伊田さんの挨拶、来賓を代表して蓮池小学校長の水野洋子様にしていただきました。運営上の注意を運営委員長の武岡さんにしていただきました。各自治会の子供たちや絵心のある方々の作った行燈も点火を待っていました。また今年は初めて播磨中学校の吹奏楽部に出場していただくことになり準備もギリギリまで続きました。



# 『播磨中学校吹奏楽部』

オープニングは初出演の播磨中学校吹奏楽部です。総仕上げのコンクールを終えたばかりの3年生も含め総勢61名の部員が、まばゆいばかりの若さとエネルギーを出して演奏してくれました。曲目は『ルパンのテーマ』『夏まつり』『この夏のヒットメドレー』です。途中、指揮者も先生から生徒に代わったり、ちょっとマイクの声が聞こえにくかったのですが分かりやすい曲紹介をしてくれたり、工夫を凝らして20分間一番熱い中頑張りました。



# 『蓮池幼稚園』

蓮池幼稚園の4歳児と5歳児の皆さんが、浴衣姿で踊っていただきました。“播磨音頭”と“はりまドキドキダンス”を踊りながら可愛い笑顔を振る舞ってくれました。お父さんもお母さんもメロメロです。



# 『めちゃ楽連』

12年前に余命3ヶ月の末期癌であることを宣告された連長がどうせいただいた命なら楽しいことに捧げたいと思い、結成した連です。本場、徳島にも出演し、古典的邦楽の良さとアバンギャルドな新しさをミックスさせた音と正調の踊りで観客を魅了します。とにかく生音外衣だけでなく、踊りも洗練されています。幼児から後期高齢者まで世代豊かな大きな家族という感じの連です。一瞬一瞬の動きを見ると本当に素敵です。徳島でも頑張ってください。



# 『ピピング』

ピピングは、ダンスを通じて仲間を思いやること、一つの作品を造り上げるために一生懸命頑張ることの大切さを学んでいます。毎週金曜日、土曜日にレッスンをしています。今日は夏まつりを精一杯盛りあげます。



# 『Aloha Pua Makani Ohana』

夏と言えば「ハワイアン」ですね。南国のハワイアンフラと一緒に楽しみました。爽やかな風を感じましたか。そして3曲目は会場の皆さんと踊りました。



# 『ダンシングチーム KIRARA』

いつも元気いっぱい。笑顔いっぱいで踊るダンシングチームです。西尾先生の指導の下、本当に楽しく踊ってくれます。総勢150人の踊りです。持っている全てのエネルギーをこの地に爆発させて踊りました。踊ることが大好きな子供たち！思いきり楽しんで夏まつりを熱く盛りあげてくれました。



# 『兵庫県いなみ野学園OBボランティアグループカクテル一座』

結成15年目を迎えます。鳥取県因幡地方の伝統芸能である雨乞いの踊りを現代風にアレンジしたものです。カクテル一座は兵庫県より「くすのき賞」をいただきました。平成26年から3年間いなみの学園演芸ボランティアグループとして東日本大震災の被災地へ訪問し交流を深めました。楽しんでいただけましたか。



# 『シャイニングスター』

心と体に輝きを与え続けるシャイニングスターです。キララを卒業し、大学生・社会人・主婦になってもダンスに情熱的に向き合い、輝き続けたいと思っています。『おぼろ月夜』はどうでしたか。



# ダンスをやってみよう！！

会場に来られた皆さんを誘ってダンシングチームKIRARAの皆さん、シャイニングスターの皆さんと一緒にダンスをしました。みんな楽しそうですね。



# 『YENA☆(イエナ)』

明石ケーブルテレビがプロデュースするご当地アイドルグループYENA☆(イエナ)の皆さんです。

満天の星空から舞い降りた女の子たちは、明石市立天文科学館で稼働する現役最古のプラネタリウム投影機『カールツァイス・イエナ』にあやかりイエナと名付けられました。デビュー以来、地域のイベントなどにたくさん出演し活躍されています。のぞえ夏まつりにも去年に続いて連続出演です。



# 阿波踊りから総踊り（播磨音頭）へ！！

いよいよファイナルです。めちゃ楽連が先導する阿波踊り、会場の集まった老若男女の皆さんが「ちゃんかちゃんか、チャンカチャンカ」の曲に乗って同じあほなら踊りやな損々。そして「やあ～となあ～ そりゃ、よいよい。やあ～となあ～ そりゃ、よいよい。」跳ねろ跳ねろ！総踊りです。今年も最高のおまつりでしたね。何よりこんなに暑いのに、全員元気でできたまつり。最高です。



## 今年もたくさんの笑顔をありがとう!!

閉会の挨拶は、実行副委員長の京保さんにいただきました。今年もたくさんの笑顔に会えました。総勢6000人の参加者全員がこの夏のひとときを思い存分楽しむことができたでしょうか。

暑さから逃げるばかりが熱中症対策じゃない。暑いからこそ、涼を求めて祭りにやって来る。祭りに来たらつつい買って食べて踊って、熱くなる。いろんな人から笑顔のパワーをもらって元気になる。そして帰ったらしっかり眠ることです。

今年の『のぞえ夏まつり』はいかがでしたか。夏まつりが成功できたのは、準備から後片付けに至るまで関わってくださった全てのスタッフの皆様のおかげです。いろいろな団体の皆様、主催者側の意をくみ取って協力して下さりありがとうございました。

